

ひとりひとり自分らしく 個性と個性が生み出す調和

ハーモニー

市民活動課（内線357）

性別の枠を超えて

皆さんは「ジェンダー・ギャップ指数」をご存じですか。この指数は、世界経済フォーラムが各国の男女間の格差を「経済」「教育」「健康」「政治」の4分野で評価し、ランキング化したものです。2025年、日本は148カ国中118位でした。先進7カ国（G7）の中では最下位です。日本は教育や健康の面での男女格差が比較的小さいと言われますが、経済や政治の分野での格差が課題となっています。

この状況を改善していくためには、性別に捉われない考え方を持つことが重要です。また、性別にかかわらず活躍できる制度づくりや、幅広い事例の紹介も必要です。例えば、身近で活躍する女性の姿を見ることで、未来への希望を持つきっかけになるかもしれません。

10月、日本で初めて女性の首相が誕生しました。世界ではすでに女性の首相や大統領が活躍し、政治分野でジェンダー平等が進んでいる国が増えています。性別の枠を超えて、誰もが自分らしく輝ける社会をみんなで育みましょう。

小さな一歩が大きなアクションに

今日から始めよう SDGs

政策推進課（内線514）

人権週間



12月10日が何の日か知っていますか。

この日は、国連が定めた「人権デー」です。日本では、この日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、全国で人権啓発活動が行われています。

SDGsの前文には「誰一人取り残さない」「すべての人々の人権を実現する」と宣言されていて、人権尊重の理念がSDGsの基礎にあることが示されています。しかし、人権問題は社会や日常生活のさまざまな場面に存在しています。いじめや虐待、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティに対する不当な差別や偏見など、その形はさまざまです。何気なく口にした一言やSNSへの書き込みが、知らず知らずのうちに人権侵害となってしまう場合もあります。

もし人権のことで心が傷ついたら、一人で悩まずにご相談ください。市では毎月、人権に関する相談窓口を開いています。



HP1004310

土岐商写真部×広報とき 土岐の写真撮影隊
Vol.31 「木の季節」

空気が冷たくなり、冬の寒さを感じる頃になりました。澄んだ空と葉っぱが落ちて寂しくなった木が、冬の儚さをより一層感じさせています。木の姿は私たちに四季をお知らせしてくれる大切な存在です。ぜひ一度、足を止めて空を見上げてみてはどうでしょうか。

撮影班 一年生 富田 莉歩・岡崎 萌楓